

@とある都科技生

2022. 文化祭特別号①

都立科学技術高等学校
広報委員会

7・8月のできごと | ☑ 新型コロナウイルスの感染者が世界最多 ☑ 記録的な円高傾向止まらず

文化祭準備風景 2年2組

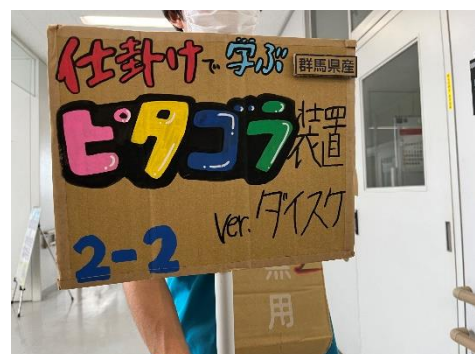
2年2組では、夏休みから文化祭の準備を始めました。

クラス内で、それぞれ1～3分野のグループに分かれて、日替わりで作業を行っています。

グループごとに案を出し合い、段ボールをカッターで切ったり、グルーガンで接着したりして様々な仕掛けを作り、最後にグループで作った仕掛けをつなぎ合わせ、大きな仕掛けができる予定です。



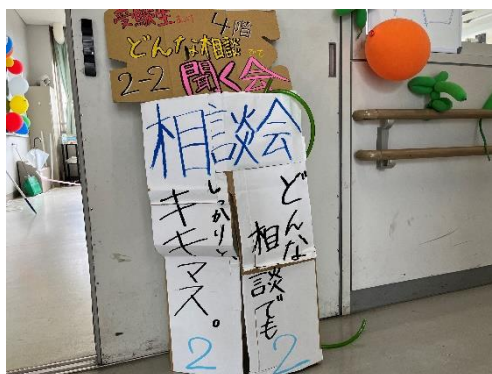
2年2組の企画にお邪魔しました！



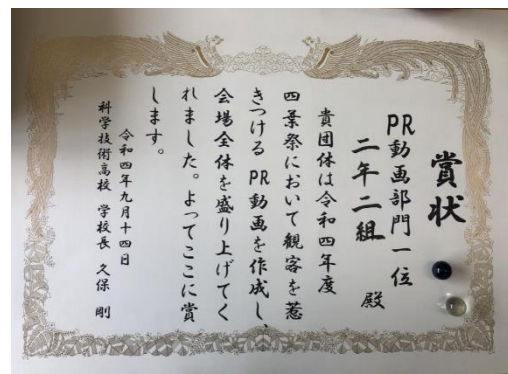
「大きな仕掛け」が気になって文化祭当日に2年2組へ。待ち受けていたのは教室の壁いっぱいのピタゴラ装置。制作していたのはこの仕掛けだったのですね！



▲装置の成功率は約15%だそう。



▲教室の外にも大きな装置が！



▲PR動画部門1位！

おめでとうございます！！

ミスノミドリが現れる季節がやってきた。

何を隠そう、ミスノミドリとは皆がよく知る「ハト」のことである。

では、なぜわざわざ「ミスノミドリ」と呼んでいるのか？

それは、わたしが彼らのミスノミの光景を見てしまったからだ。

雨上がりの水溜まりにクチバシをつけ、彼らは無心にのどを震わし水を飲んでいたのである！

彼らのミスノミのメカニズムは、実はヒト科の我々の日用品に関係がある。

ズバリ、ストローだ。ストローはまずヒトが口をつけ、内部の空気を吸う。

そうすればストローの内部は減圧され、中の液体がせりあがってくる。

この文の「ストロー」を「クチバシ」に置き換えると、ハトが水を飲む原理の説明になる。

そう、ハトはクチバシの内部を減圧することによって水を飲んでいるのである。

因みに、この特技を身につけた要因は定かではないが、

「素早くミスノミを終えるため」や「小さな水溜まりからミスノミするため」という説が濃厚である。

しかし、重い水は飛行する臆病者にとっては邪魔にも思える。

ミスノミの利点とは何か？

彼らが啄(ついば)むものを頭に浮かべてほしい。その殆どが、「乾燥物」であろう。

種子や道端のパン、そういった乾燥物を効率よく消化するため、水で胃の内容物をふやかすのである。

では、また雨上がりの水溜まりで会おう、ミスノミドリ！

8月の初め、クラスの友達と一緒にジョイポリスへ行きました。写真のようにソニックがところどころにいてまわるだけでも楽しかったです。

撃音というアトラクションに乗っている途中で、音ゲーをやるところがあるのですが、メガネを外さなければいけないので目が全く見えず音ゲーどころではなかったです(笑)

